

学校評価シート（自己評価）

1、園の教育目標

心身ともに健康で情操豊かな幼児を育成することを目的とし、
『じょうぶなからだ、やさしいところ、きづきとおもい』を教育目標とする。

「じょうぶなからだ」の育成のために

幼児の心身の発達と活動の様子をよく理解し、その個人差に応じて適切に指導を行います。

- 広い園庭と多彩な遊具を存分に使った自由あそび
- 全園児の朝の体操
- 専門講師による体育教室での運動感覚づくり

「やさしいところ」を育成するために

基本的な生活習慣を身につけ、豊かな心情を育てます。

- 子どもの手による栽培の体験
- 観劇や視聴覚教材を鑑賞し、美しいものに感動、共感することによる感性の育成
- 人、自然との関わり方を学ぶ遊びや環境の設定
- 豊かな心を育む、教師や有志のお母さんによる絵本の読み聞かせ

「きづきとおもい」を育成するために

集団生活の中で、伸び伸びした表現活動を通して豊かな創造性を育てます。

- 色々な素材を使った製作や絵画遊びでの表現力の育成
- 季節に応じた園外活動での感性の育成
- 知につながる気づきを生む教師の仕掛け
- 国際感覚を育てる外国人講師による英会話教室

2、具体的な目標や計画

保護者アンケートや教職員アンケートを基に、評価項目に沿って自己点検、自己評価を行う。
職員会議を通して、客観的に自園を見る目を養い、教職員間で目標や課題の解決方法を検討する。
施設の改善や教育内容の改善の参考にして、改善計画練り全教職員で統一して取り組んでいく。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
見学の精神や教育目標に基づき教育活動や園行事など行うことができている	A	園庭を使っての外あそびを増やし、身体を使っての活動が時間を多く取れた。外で活動することにより感染症予防、子どもたちの心のケアにもつながった。
日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みなど、的確に行っている	B	感染症予防を中心に、細心の注意をはかりながら行った。コロナ禍が続く、慣れが出てきてしまう所もあったが、その都度気持ちを引き締める的確に行えた。
子どもの年齢や実態に合わせ、規則正しい生活習慣や集団生活での約束などの指導を行う	A	子どもの様子、成長段階、時期を見ながら指導をすることができた。小学校に向け集団の中での個の力の発揮の仕方や係わり方も楽しみながら学ぶことができた。
栽培体験や収穫活動を通し、教育目標に即した活動を行ったり、成果が出ている。	A	幼稚園の畑で自分たちで種をまいたり苗を植えたり、日々水を撒いて世話をした野菜の収穫を行うことにより、食べ物大切さや感謝の気持ちを学ぶことができた。
幼児の発達に即した支援や指導を計画し、園全体で支援体制を整えている	B	園全体で取り組む意識を強めたが、担当教員に多くの負担がかかってしまう点も多くあった。園内外の連携をより強め対象児童の成長の手助けになるように努める

具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	全教職員が趣旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んだ。 職員会議や学年での打ち合わせなどで、目標や課題の解決方法を検討し、改善のため取り組み出せた。例年通りというだけでなく、新しい指導方法や現在の状況などを踏まえ新しい試みや行事を行い、成果を出すことができた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
支援教育	保護者や関係施設と連携をより多く取り、情報交換や教員研修の機会を設けていく。それを元に園全体で共通認識をして対象児童の成長の手助けになるよう課題に取り組んでいく。対象児童だけでなく共に過ごす対象クラスの子どもたちも過ごしやすい環境を作れるように心がける。
感染症対策	引き続き細心の注意を持って感染予防に取り組んでいく。新しい生活に慣れてしまわず、問題意識を継続しながら、感染状況により子ども達がより安全に幼稚園活動が行えるよう臨機応変に対応をしていく。

学校評価シート（学校関係者評価）

金剛幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和5年5月27日（金）

16:00～17:00（時間）

出席者 評価委員（他の幼稚園園長） 2人

評価委員（元小学校校長） 2人

評価委員（地域住人） 1人

評価委員（保護者） 1人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

目標・計画、評価項目の設定など適切に行われている。

子ども達の様子や新型コロナウイルス感染症の感染状況などを踏まえ、例年通りで行うのではなく、安全に無理が無く実行できるよう計画を立て取り組んでほしい。

近年話題になっている保育者による子どもの虐待問題に対しても取り組んでいる。

2. 評価結果の内容は適切であったか

適切な内容です。

今後も評価結果を生かしていてもらいたい。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

適切に設定されている。

教職員の教育など、子どもが楽しく安心して幼稚園に通えるよう

より一層取り組んでほしい。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

子ども達が毎日喜んで幼稚園に通えるよう課題に取り組んでほしい。

通園バスの安全対策など、子どもの安全を優先して継続して取り組んでほしい。